

会議議事録

会議名：第3回介護医療院プロジェクト会議

日時：2023年9月20日（水） 16:00～17:00

場所：病院本館第2会議室

出席：土井 菊地 原田 吉田 市村 村山 渡辺 水野 磯岡 佐藤

議題1. 計画書策定の流れ（磯）

我孫子市第9期計画（2024年～2026年）の計画書策定の流れ資料に沿って説明）

議題2. 検討事項

1) 病床数申請について

- Q 現在カラオケルームに荷物や在庫が置かれているが、これらスペースを確保する必要があるか？（磯）
- A もともと収納スペースが不足しており、カラオケルームなどに置かざるを得ない状況（吉）
- A' 旧ロックス倉庫の残リスペースを借用できることになる。緊急性の低い備品や在庫をそちらに移動することで備品スペースを空けることも可能。今置かれているものが必要在庫かどうかにもよる。
- 申請に当たっては病床数が少なくなることで減収となる点を考慮の上、必要な減床決定する必要がある。
- 明確な用途に用いるための減床として最小限に留めたい（土）

2) 酸素療法の対応について

- Q 配管のセントラル工事（配管を居室に設置する）が必要なのか、HOTを準備しておくのか？
- HOT（在宅酸素療法）機器はリース、レンタルとなるため継続的に費用が発生する。
- 在宅扱いである介護医療院だと、対応がどうなるのかを明確にする必要がある。
- I型を想定した設備とすると、ベッドコントロール上でも2コンソール／居室の設置が望ましい。コンソールが一居室（4人部屋）に二つあれば済む。旧療養病床と同じ水準。
- I型を想定して設備を整えておかないと、II型からI型へ移行することは不可能となるため、そうした想定で設備を整える必要がある。（菊）
- A 配管費用はかなり高額となる。（土）
- Q エスパーロの病院側数部屋まで配管が伸ばしてある。これを延長する形となるのか？
- コンソールを設置すれば吸引処理の手間も軽減できる。
- 現場の作業の省力化によって働きやすい環境を整備する観点でも必要性は高いのではないか。（菊）
- A エスパーロには看護助手がいないため、介護士が吸引機器の処理などに当たることは難しい印象。（吉）
- Q 酸素療法導入に当たっては一度受診する形となるのか？在宅扱いとなると老健とは異なる対応が必要か？（菊）
- A 確認する（渡）

3) 機材・在庫の保管スペースについて

- ・現場的にはマットレス保管スペースの必要性が高い。HOT をレンタルする場合そのスペースも必要となる。(菊)
- ↳ 資材のスペースを把握の上、必要なスペースを確保する必要がある。(土)
- ➡ 必要なスペース(フロア内保管を要する在庫・備品および現在業務部在庫を置いているスペースが空けられるか等)について調査が必要

4) 施設見学について

視察候補は三カ所で、見学可否については一部先方からの受入回答待ち

5) 今後の方針

- ・基本的な方針としては病床数は 95 床として申請。
- ・開設年度は 2024 年度(2025 年 3 月までの開設)として進める。
- ・Ⅰ型とⅡ型のミックス型とするのが良いのではないか。
- ・見取り図(平面図)や配管図はメンバーで共有しておくように。
- ・喀痰吸引研修は現場職員が皆研修を受けて行えるような体制作りをしてはどうか。
- ・喀痰吸引受講など早々に進める必要があるものは計画的に進めるように。
- ・補助金については具体的な活用について検討するように。…………(土)

Q 開設時期については大規模改修を伴うと時間がかかるのではないかと？(吉)

A 新設ではなく改修であればさほど時間はかからない。(土)

➡ 工事の所要期間については業務部に確認する。(熱田部長に依頼済)

次回会議

次回より定期開催とする(毎月第Ⅰ木曜日 16:00~17:00)

次回会議: 10 月 5 日(木) 16:00~17:00 病院本館 2 階会議室